



石の枕

明治5年(1872年)創立された「横浜海岸教会」の週報を見せていただいて感激した。印刷された週報は、1966年のものですから、比較的新しいものではあるが、その礼拝順序の後に「礼拝の栞」という欄があった。

「教会は神の家、祈りの家、又天国の型である。ここに入る時は、思慮を慎み、敬虔を旨とし、ここを去る時は感謝と喜びとを心に修め、参会の友に対しては、礼讓を尽し、愛の挨拶を交して後出る事。「敬虔は今の生命と後の生命との約束を保ちて凡ての事に益あり」(第1テモテ4の8)。

明治時代の日本語表現は、現代人には理解しにくいかもしれないが、ゆっくり読むと、教えられること多く、この時代にも反映したいものである。

* ~~~~~ *

私の少年時代も、この教会に就任したころも、日本中、日曜の朝は、子どもの日曜学校(教会学校)は8時半か9時、大人の礼拝は、10時半が一般的であった。また夜は伝道集会(夕拝)があった。

この教会は、その点、革命的に、日本のキリスト教界の先頭を走ってきた。礼拝の複数制だけでなく、子ども集会も、親と一緒に来て、一緒に帰宅できるように、又受験生やお仕事のある人々のために、早朝礼拝も考えた。

どうにかして福音を伝えたい、という熱き心をもって、「対話集会」をしたり、最近「宴会」なる名称で伝道会をして来た。漫才、落語、ヒップホップ、人間劇場、ゴスペル、クラシック、市長さん呼んでブルーグラスもした。

この度、どうしても青少年の魂を救いに導きたくて『青年礼拝』なる若者集会を始める。愛称は「J. PLUS」と言います。高級スピーカーも入れて、次世代のサウンドを味わってもらいます。(難聴を恐れる中高年の方々は、耳せんを用意するか、後部席で支えて下さい。又地下室で祈って下さい。)

説教者は、小崎師、梶山師、倉知師、坪井師の四人。是非、油注ぎを祈ってほしい。又、ご一緒に若者を誘って、座して、見守って下さい。熱く燃えよ!! 若者よ! 主のもとに来たれ!

礼拝後の分級(学び会、交わり会)も大切にしよう。どうにかして、よりよい教会に育てていただく。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!

Aコース:ルカ22章~24章 Bコース:サムエル記下21章~列王記上11章

御国がきますように。みこころが天に行われるとおり、地にも行われますように。 (マタイ六の十)

司会 二見兄 上田兄 中村勝兄

奏楽

祈禱 石橋兄 久保田兄 川田兄

賛美 聖歌253番 (たのしきいのりよ)
(そば近(おらせたまえ))

使徒信条

主の祈り

聖書 創世記13章1~13節
マタイによる福音書6章9~15節

音楽

アサリオン
宮田四郎兄

メッセージ 「あなたの居場所」 梶山直樹副牧師
「“思いやり”の秘義」 大川従道牧師

賛美 聖歌419番 (献金)
頌栄
祝禱

【大和ニュース】

- ・ 本日より「青年礼拝」(J. Plus)スタート! 昼2時から50分間のエキサイトタイム! 中高生、学生会、青年会! 全員集合!! 説教は小崎アツヒロ師。
- ・ 本日、セキュリティ、ヤンチャ、青年会、学生会の昼食あり。新入生大歓迎!
- ・ 本日の役員会は、旧役員さんの最後の集いです。新役員は5月1日より。
- ・ 今週は「泉チャペル・献堂記念聖会」です。祈りをもってご参集ください。講師は、日本を代表する説教者「佐藤章牧師」です。3回の連続新鮮メッセージ。5月3日昼2時(子供集会有) 3日夜7時 4日朝10時半(子供集会有)
- ・ その他のスペシャルは、^a 早朝聖会(4日朝6時・石井潤師・大川師)
^b リバイバル聖会(4日夜7時・中見透師・大川師)
- ・ 若者よ! 恵みの泉にどっぷりつかろう!! 明日昼12時、4日昼2時
- ・ 英語礼拝は、新時刻。土曜夜6時50分~8時。説教はW. Cordeiro師(字幕あり)。
- ・ 来週5月6日(日)昼1時半より男子リーダー会(会長と副会長)あり。3階FRにて。